

合志市区長連絡協議会長あいさつ

▼問い合わせ先

総務課 総務・男女共同参画班（合志庁舎）
☎（248）1112



ひろし 博詞
おがた 緒方
(辻久保)

5月19日、合志市区長連絡協議会の総会で、区長の皆様から会長としてご承認いただき、2年間活動することになりました。

昨年4月に発生した熊本地震から1年が過ぎ、復旧復興の動きも本格的になってきました。地震を経験し、地域でつながることの大切さを感じました。また、毎年のように夏から秋にかけて大雨や台風といった自然災害が起きています。今後、いつ災害が起きてもおかしくありません。日ごろから地域で助け合う共助の精神を育んでいくことが重要であり、みんなで協力して区・自治会活動を推進していくことが必要です。

本市には豊かな農村地帯と都市化が進む地域が共存しています。人口が減少している自治体が多い中で本市の人

口は増加しており、住みやすいまちとして多くの人選ばれています。「健康都市こうし」をスローガンにこれからも各所で基盤整備が進み、着実に発展し成長していきます。

区長は区民の皆さんの最も近くについて、皆さんの声を行政につなぐ役割を担っています。

市が今後も成長していくように助け合い支え合いの精神を持ち、協力してまちづくりを進めていきます。

今後とも、合志市区長連絡協議会をよろしく願います。

平成29年度 市区長連絡協議会役員

会 長	緒方 博詞 (辻久保)
副会長	松崎 和寛 (すかけ台)
〃	辻 敏輝 (上須屋)
〃	横山 廣秋 (武蔵野台)
理 事	岡本 宏 (御領)
〃	林 眞三 (鹿水)
〃	平山 洋生 (城)
〃	阪口 隆利 (黒石団地)
監 事	高来 正人 (黒石原)
〃	松永 和典 (堀川)



素敵な人生 素敵なパートナー

6月23日～29日は男女共同参画週間



男女共同参画推進懇話会
たぐち よしかつ 善勝
委員 田口

言って。でも、そもそもあなたは何のために働いているの」と私に言いました。

育児を協力してやっているというおごりがあった私にとって、衝撃的な言葉でした。

仕事にはいろいろな目的があり、家庭のためだけに働いているのではないことを、彼女は理解してくれていました。明るく楽しい家庭を築くためにお互いが家事や育児などを協力して働くことも、重要なことであると気づかせてくれました。

男女共同参画社会を実現するためには、パートナーとの共通の目標を持ち、そのために持てる力を十分発揮していくことが重要です。

私とパートナーの共通の目標は、子どもたちに心豊かな人になつてもらうことです。この原稿を書いた日は、洗濯物をたんで風呂掃除をしました。パートナーとともに今後も共育を心掛けていきたいです。

私は、男女共同参画社会のイメージを「男女にかかわらず多様な人々が、それぞれの持てる力を十分に発揮してよりよい社会を築いていくこと」だと考えています。育児や教育についても、パートナーと協力し、まさに「共育」を大切にしたいと心掛けています。

私がこのように考えるようになった大きな契機について紹介します。長男が誕生し、私もそれなりにイクメンを自称していましたが、仕事とうまく兼ね合いがつかず、「自分がこんなに協力しているのに」とパートナーに辛く当たってしまった。そのとき彼女は、「育児に協力してもらってとても助かっている。忙しいときは